



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月30日

上場会社名 ユニ・チャーム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8113 URL <http://www.unicharm.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高原 豪久
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理財務本部長 (氏名) 秋田 泰 (TEL) 03(3451)5111
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	90,307	7.0	12,306	23.2	10,263	△6.4	6,144	3.6
22年3月期第1四半期	84,363	0.5	9,992	31.9	10,967	35.0	5,931	44.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	97.65	—
22年3月期第1四半期	93.19	93.18

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	352,516	199,564	53.0	2,971.62
22年3月期	307,773	207,413	59.7	2,922.16

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 187,000百万円 22年3月期 183,888百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	186,000	7.8	21,000	△2.1	19,200	△12.7	22,500	74.7	357.55
通 期	393,000	10.1	46,000	2.1	43,000	△6.2	32,000	30.8	508.51

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成22年7月30日)公表の「平成23年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

また、平成23年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式分割を考慮しない額を記載しております。詳しくは、次頁(※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)をご覧ください。

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

23年3月期1Q	68,981,591株	22年3月期	68,981,591株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

23年3月期1Q	6,052,839株	22年3月期	6,052,515株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

23年3月期1Q	62,928,928株	22年3月期1Q	63,652,078株
----------	-------------	----------	-------------

(※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

(※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

本資料の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

なお、当社は、平成22年4月30日開催の当社取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更に関して決議し、平成22年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割することとしております。平成23年3月期(予想)の配当金額については、株式分割を勘案した金額を記載しております。

また、当該株式分割が行われたと仮定した場合の平成23年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は以下のとおりであります。

第2四半期連結累計期間	119円18銭
通 期	169円50銭

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. その他の情報.....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書.....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) セグメント情報.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	11
(6) その他の注記事項.....	11
4. 補足情報.....	11
(1) 主要な連結子会社の業績の概況.....	11
(2) 主要な連結子会社の株式の公開買付け、及び吸収合併について.....	12
(3) 株式の分割.....	13

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）における当社グループをとりまく経営環境は、海外市場におけるパーソナルケア関連商品の需要が引き続き拡大しております。

海外事業では、アジア地域において展開エリアの拡大と合わせたプロモーション活動による販売促進を進めました。また、国内パーソナルケア事業では、高付加価値商品の投入と商品ラインアップの充実による販売促進の強化に取り組みました。ペットケア事業におきましても、高付加価値カテゴリーの商品ラインを充実し販売強化に取り組みました。

この結果、第1四半期連結会計期間における売上高は90,307百万円（前年同四半期比7.0%増 為替変動要因を除くと実質前年比6.1%増）、営業利益は12,306百万円（前年同四半期比23.2%増 為替変動要因を除くと実質前年同期比22.5%増）、経常利益は10,263百万円（前年同四半期比6.4%減）、四半期純利益は6,144百万円（前年同四半期比3.6%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

① パーソナルケア

【ベビーケア事業】

国内では、『マミーポコ』、『マミーポコパンツ』を約10年ぶりにブランドカラーを刷新し、「モレない・ムレないに特化した基本品質」と「はじける楽しさ」をお手頃価格で提供する事で販売促進を進めました。また、はかせるオムツ『ムーニーマン』を刷新し、“下着のようにやわらかい履き心地”という新たな付加価値の創造を実現した革新的な商品、『ムーニーパンツ下着仕立て』を発売、市場の活性化を進めました。

一方、中国では参入都市を拡大し売上成長と利益改善を進めました。またインドネシア、中東・北アフリカ地域、韓国においても売上成長及び収益力の改善を図りました。

【フェミニンケア事業】

国内では、肌に密着させない「エアフィット構造」の『ソフィ はだおmoi』に安心の長さである夜用40cmの商品をラインアップに追加し、肌ケア市場の活性化を進めました。

海外では、中国地方都市へ販売エリアを拡大し、売上の拡大を進めました。また、アジア参入各国で夜用タイプ、スリムタイプなど高付加価値ナプキンの販売を強化し売上の拡大と収益力を強化しました。

【ヘルスケア事業】

軽い“尿もれ”もさっぱりと安心！の尿ケア専用品『チャームナップ』を改良し、積極的なプロモーションを展開し売上の拡大を図りました。また、介護用品の売り場において、よりお買い求めやすい店頭演出を推進する事で販売促進を強化しました。

【クリーン&フレッシュ事業】

驚くほどキレイにカンタンに掃除ができる便利でお洒落なお掃除用品、シートクリーナー『ウェーブ』シリーズの販売促進を強化しました。

この結果、パーソナルケア事業の売上高は76,652百万円、営業利益は9,952百万円となりました。

② ペットケア

消費者ニーズを捉えた商品の開発・市場創造に努め、国内のペット飼育の4大潮流「室内飼育化」「小型犬化」「高齢化」「肥満化」を踏まえた商品ライン拡充と販売促進を行いました。

ペットフード部門では、健康ケア市場への参入として、猫の血尿・排尿困難・頻尿・尿路閉塞などの下部尿路疾患に対応する泌尿器ケアフードとして、『ねこ元気 下部尿路の健康維持用』を発売しました。また、高齢犬・猫用フード・犬種別フード・グルメフードのラインアップを拡大し、積極的な販売促進を実施しました。

ペットトイレタリー部門では、『デオシート』・『デオシート 強力消臭パワー』・『ZEROワン』といった犬の排泄処理用シート・猫用システムトイレ『1週間消臭・抗菌デオトイレ』・ペット用紙オムツとい

た清潔な住環境を整えるペットの排泄ケア関連商品を中心に積極的な販売促進を実施しました。

この結果、ペットケア事業の売上高は11,995百万円、営業利益は2,247百万円となりました。

③その他

不織布・吸収体の技術を活かした業務用商品分野においては、食品包材事業を中心に収益改善を進めました。

この結果、その他事業の売上高は1,658百万円、営業利益は99百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は352,516百万円(前連結会計年度比14.5%増)となりました。主な増加は、のれん51,366百万円、有価証券5,000百万円、建物及び構築物(純額)2,019百万円、原材料及び貯蔵品1,171百万円であり、主な減少は、現金及び預金△14,701百万円、受取手形及び売掛金△3,554百万円、投資有価証券△941百万円によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は199,564百万円(前連結会計年度比3.8%減)となりました。主な増加は、当第1四半期純利益6,144百万円であり、主な減少は、少数株主持分△10,960百万円、剰余金の配当金の支払△2,202百万円によるものです。

(自己資本比率)

当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は53.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の業績予想の数値につきましては、本日(平成22年7月30日)公表の「平成23年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、平成22年4月30日に公表した業績予想から修正をいたしておりますのでご覧ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

記載すべき重要な事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

②「企業結合に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	85,174	99,875
受取手形及び売掛金	38,089	41,643
有価証券	6,499	1,499
商品及び製品	12,392	11,607
原材料及び貯蔵品	9,376	8,205
仕掛品	291	273
その他	12,794	9,222
貸倒引当金	△68	△75
流動資産合計	164,550	172,251
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	28,527	26,507
機械装置及び運搬具(純額)	45,359	44,983
その他(純額)	23,170	23,866
有形固定資産合計	97,056	95,356
無形固定資産		
のれん	63,395	12,029
その他	2,618	2,582
無形固定資産合計	66,013	14,612
投資その他の資産		
前払年金費用	5,567	5,534
投資有価証券	17,111	18,052
その他	3,229	2,991
貸倒引当金	△1,012	△1,025
投資その他の資産合計	24,895	25,552
固定資産合計	187,965	135,521
資産合計	352,516	307,773
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,506	36,135
短期借入金	66,225	6,305
未払法人税等	3,545	10,390
賞与引当金	2,079	3,858
その他	36,527	35,635
流動負債合計	145,884	92,324
固定負債		
長期借入金	738	943
退職給付引当金	2,328	2,325
その他	3,999	4,766
固定負債合計	7,066	8,035
負債合計	152,951	100,359

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,992	15,992
資本剰余金	18,802	18,802
利益剰余金	192,639	188,696
自己株式	△36,332	△36,329
株主資本合計	191,101	187,161
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,554	2,795
繰延ヘッジ損益	6	8
土地再評価差額金	△389	△618
為替換算調整勘定	△6,272	△5,459
評価・換算差額等合計	△4,100	△3,273
少数株主持分	12,564	23,524
純資産合計	199,564	207,413
負債純資産合計	352,516	307,773

(2) 四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	84,363	90,307
売上原価	47,326	48,317
売上総利益	37,037	41,990
販売費及び一般管理費	※1 27,044	※1 29,683
営業利益	9,992	12,306
営業外収益		
受取利息	131	143
受取配当金	109	103
有価証券売却益	6	—
為替差益	1,355	—
その他	143	181
営業外収益合計	1,746	429
営業外費用		
支払利息	51	38
売上割引	695	820
為替差損	—	1,574
その他	24	39
営業外費用合計	771	2,472
経常利益	10,967	10,263
特別利益		
固定資産売却益	1	9
貸倒引当金戻入額	—	26
特別利益合計	1	36
特別損失		
固定資産処分損	120	146
貸倒引当金繰入額	394	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	71
その他	3	40
特別損失合計	517	258
税金等調整前四半期純利益	10,451	10,040
法人税、住民税及び事業税	4,046	1,545
法人税等調整額	△991	767
法人税等合計	3,055	2,313
少数株主損益調整前四半期純利益	—	7,727
少数株主利益	1,464	1,582
四半期純利益	5,931	6,144

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	パーソナルケア (百万円)	ペットケア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	69,993	11,595	2,774	84,363	—	84,363
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	1	(1)	—
計	69,993	11,595	2,775	84,365	(1)	84,363
営業利益	7,273	2,433	272	9,979	12	9,992

(注) 1 事業区分の方法

各事業区分の方法は、製品・販売市場等の類似性を考慮して、当社の売上集計区分によっております。

2 各事業区分の主要製品

- (1) パーソナルケア……ベビーケア関連製品、フェミニンケア関連製品、ヘルスケア関連製品等
- (2) ペットケア ……ペットフード製品、ペットトイレタリー製品
- (3) その他 ……食品包材製品、産業資材製品、ファイナンス業務等、その他

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	ヨーロッパ・ 中東 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	51,282	22,600	10,480	84,363	—	84,363
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	3,761	543	—	4,304	(4,304)	—
計	55,043	23,144	10,480	88,668	(4,304)	84,363
営業利益	6,464	2,890	611	9,966	26	9,992

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア……台湾、中国、韓国、タイ、インドネシア、オーストラリア等
- (2) ヨーロッパ・中東……オランダ、サウジアラビア

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	アジア	ヨーロッパ	中東・北アフリカ・北米	計
I 海外売上高（百万円）	22,604	6,176	4,623	33,404
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	84,363
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	26.8	7.3	5.5	39.6

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………台湾、中国、韓国、タイ、インドネシア、オーストラリア等

(2) ヨーロッパ……………オランダ等

(3) 中東・北アフリカ・北米……………サウジアラビア、エジプト、アメリカ等

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、パーソナルケア、ペットケア、その他の3つの事業単位を基本に組織が構成されており、各事業単位で日本及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は「パーソナルケア」「ペットケア」「その他」の3つを報告セグメントとしております。

「パーソナルケア」は、ベビーケア関連商品等、フェミニンケア関連商品等、ヘルスケア関連商品等、クリーン&フレッシュ関連商品等の製造・販売をしております。「ペットケア」は、ペットフード関連商品等、ペットトイレタリー関連商品等の製造・販売をしております。「その他」は、産業資材関連商品等の製造・販売をしております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	パーソナルケア	ペットケア	その他	
売上高				
外部顧客への売上高	76,652	11,995	1,658	90,307
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	5	5
計	76,652	11,995	1,664	90,312
セグメント利益 (営業利益)	9,952	2,247	99	12,300

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	12,300
セグメント間取引消去又は全社	6
四半期連結損益計算書の営業利益	12,306

4 報告セグメントごとののれんに関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当社は、当社の連結子会社であるユニ・チャームペットケア株式会社の普通株式を、平成22年5月6日から平成22年6月16日までの期間において、公開買付けを実施いたしました。これによる当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結会計期間においては51,542百万円であり、ペットケアセグメントにおける増加であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

該当事項はありません。

(6) その他の注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
※1 販売費及び一般管理費の主なもの	※1 販売費及び一般管理費の主なもの
販売運賃諸掛 4,395百万円	販売運賃諸掛 4,730百万円
販売促進費 9,797百万円	販売促進費 11,695百万円
広告宣伝費 2,020百万円	広告宣伝費 2,607百万円
従業員給与・賞与 2,500百万円	従業員給与・賞与 2,588百万円
賞与引当金繰入額 810百万円	賞与引当金繰入額 830百万円
退職給付費用 384百万円	退職給付費用 352百万円
減価償却費 500百万円	減価償却費 425百万円

4. 補足情報

(1) 主要な連結子会社の業績の概況

ユニ・チャームペットケア株式会社の業績の概況

(百万円未満切捨て)

平成23年3月期第1四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	12,034	3.5	2,233	△7.3	2,063	△7.6	1,217	△7.5
22年3月期第1四半期	11,628	6.9	2,409	41.6	2,232	42.8	1,316	41.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	43.44	—
22年3月期第1四半期	46.97	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	29,138	19,832	68.1	707.65
22年3月期	30,329	19,191	63.3	684.74

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 19,832百万円 22年3月期 19,191百万円

なお、ユニ・チャームペットケア株式会社は、当社による公開買付けを実施した結果、平成22年7月25日付で上場廃止となりました。

(2) 主要な連結子会社の株式の公開買付け、及び吸収合併について

当社は、平成22年4月30日開催の当社取締役会においてユニ・チャームペットケア株式会社の普通株式を金融商品取引法に基づく公開買付けにより取得すること、及び当該公開買付けが成立することを条件に同社と経営統合することを決議し、合併契約を締結いたしました。

これに基づき、平成22年5月6日から平成22年6月16日までの期間において公開買付けを実施し本公開買付けが成立いたしました。また、平成22年6月24日に開催いたしました当社第50回定時株主総会において、当社とユニ・チャームペットケア株式会社の合併契約に関する承認可決を得ました。

これを受けて、平成22年9月1日を効力発効日として、当社を存続会社、ユニ・チャームペットケア株式会社を消滅会社として吸収合併いたします。

[公開買付け及び吸収合併の目的]

両社が有する経営資源等を相互に補完・有効活用することにより、両社の事業基盤の更なる強化と業務拡大を図るためであります。

[買付代金]

- (i) 買付した株式数 普通株式 16,424,052株
- (ii) 買付代金 62,821百万円（1株につき金3,825円）

[ユニ・チャームペットケア株式会社の概要]

- (i) 事業内容 ペットフード製品、ペットトイレタリー製品の製造、販売
- (ii) 従業員数 229人（平成22年3月31日時点）
- (iii) 売上高 46,916百万円（平成22年3月期）

詳細に関しましては、株式会社東京証券取引所ホームページに掲載されております下記ニュースリリースをご覧ください。

平成22年4月30日

当社子会社であるユニ・チャームペットケア株式会社株式に対する公開買付けの開始に関するお知らせ

平成22年4月30日

ユニ・チャーム株式会社とユニ・チャームペットケア株式会社の公開買付けの不成立を解除条件とする合併契約締結に関するお知らせ

平成22年5月6日

（訂正）「当社子会社であるユニ・チャームペットケア株式会社株式に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」の訂正に関するお知らせ

平成22年5月6日

（訂正）「ユニ・チャーム株式会社とユニ・チャームペットケア株式会社の公開買付けの不成立を解除条件とする合併契約締結に関するお知らせ」の訂正に関するお知らせ

平成22年6月17日

当社子会社であるユニ・チャームペットケア株式会社株式に対する公開買付けの結果に関するお知らせ

平成22年6月24日

当社とユニ・チャームペットケア株式会社の合併契約に関する当社第50回定時株主総会での承認可決についてのお知らせ

(3) 株式の分割

当社は、平成22年4月30日開催の取締役会において、株式の分割について下記の通り決議いたしました。

I. 株式の分割の目的

投資家の皆様に、より投資しやすい環境を整えるため、株式の分割を実施し、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的とするものであります。

II. 株式の分割の概要

①分割の方法

平成22年9月30日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有普通株式1株につき、3株の割合をもって分割いたします。

株式の分割

②分割により増加する株式数

株式の分割前の当社発行済株式総数	68,981,591株
今回の分割により増加する株式数	137,963,182株
株式の分割後の当社発行済株式総数	206,944,773株
株式の分割後の当社発行可能株式総数	827,779,092株

III. 株式の分割の日程

①基準日公告日	平成22年9月15日
②基準日	平成22年9月30日
③効力発生日	平成22年10月1日

詳細に関しましては、株式会社東京証券取引所ホームページに掲載されております下記ニュースリリースをご覧ください。

平成22年4月30日

株式の分割および株式の分割に伴う定款の一部変更に関するお知らせ